

SSKU

みんなな輝け

（社福）かがやけ福祉会ニュース No.166

編集 （社福）かがやけ福祉会 〒124-0021 葛飾区細田3-5-3

電話:03-5668-1146/FAX:03-5668-1147/電子メール:kagayake01@jcom.zaq.ne.jp
http://kagayakefukushikai.or.jp/



新年会、忘年会、コロナ禍の中でも、社会的距離を保ちみんなで楽しく過ごしています。
楽しかった思い出を作文として残してくれるなかまも居ました。

表紙：

2 ページ：「春に向かう」 2021年 年頭にあたり

3 ページ：エタンセール、アルクアンシェル合同Xmas会/
かがやけ寮 クリスマス会/かがやけ第2共同作業所 忘年会

4 ページ：かがやけ共同作業所クリスマスパーティー開催
かがやけ共同作業所 新入所者紹介
募金報告/編集後記

「春に向かう」 2021年 年頭にあたり

昨年は、コロナ感染症の対応で、世界中が、大きく揺れ、私たちがやけ福祉会も1年があわただしくすぎました。

地球規模で、このようなことが起こることが、歴史上におこったことに、私たち全人類が、しっかりと向き合いながら、今後の人類の歩むべき道を英知を結集して考え、実践していかなければならないと思います。

人から人への感染というこの状況では、人との距離をどうもつか、ということが重要なわけですが、人は集団で生き、そして、人とのコミュニケーションの中で、成長していくわけですから、このところをやはり、重要視して、距離をとり、大きな行事は中止し、最低限の人数にするけれど、でも人とのつながりをどうしていくのかを常に考え、実践したいとおもいます。

かがやけ第2共同作業所では、自粛もあり、仕事も思う様にかがやけ共同作業所もボーナスが減りました。この状況だから仕方ないのではなく、この問題は、障害分野のみでなく、多くの方達が、仕事がなくなり、路頭に迷い、明日の生活さえも不安に陥っている方々が増えているわけですから、問題を抱えた方達がつながりながら、大きく声をあげ、社会全体をかえていかねばならないと思います。

法人の職員も毎日毎日、このウイルスからなかつたまたちを必死に守ろうと、不安を抱えながら闘っています。福祉会で陽性者が出たときも、毎日グループホームに出向き、命と向き合ってくれた職員、それを支えてくれた家族のみなさん。この仕

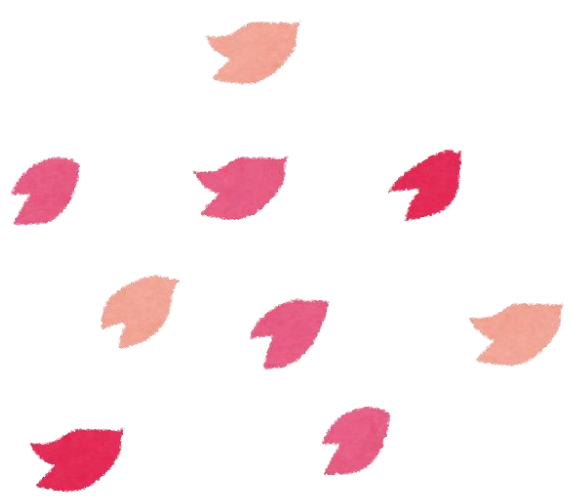
事にほこりを持ち、不安を抱えながらも、頑張っている姿に胸をうたれ、しかしながら、その時は、入院したなかまは大丈夫だろうか、もつとみんなが感染しないか心配し、そして、本当にびくびくしながら、PCR検査の結果を毎日毎日、電話の前に座りながら待ち、職員配置を必死に考える日々は、頑張ろうと思いつつも、不安だらけの毎日でした。保健所の方も一生懸命指導してくださいました。私たちも初めてのこと、保健所の方への電話が本当に頼りでした。

感染者が増える一方の中、医療がひつ迫し崩壊、壊滅寸前であると医師会が声をあげ、政府の対応を迫っています。国が責任をもち、国として国民一人一人を守る施策をしてほしい。現場は本当に必死で頑張っています。ぜひ、一人一人の声を聞いて、思い切った施策をとり、国として、国民一人一人に責任をもった行動をしてほしい。このままでは、本当に、大変な状況になっていくのではないかと、不安が募ります。法人としても考えられることを実践し、一人一人の命と暮らし、事業を守り、そして、多くの人とつながりながら、この状況打開に力を尽くしたいと思えます。

この状況の中、朝、8時前、毎日グループホームに向かう道で、小学生の方達が、パタパタと校門へはいつていく姿に出会います。そして、学童擁護員——みどりのおじさんが、「おはよう。」と明るく大きな声で、一人一人に声をかけ、「みんな今日も元気だねー。」と確認している姿がとても暖かく、私の日常のほっとタイムになっています。そして、自転車で走っている私にも、「おはようございませう。」「気をつけて」とその方が、声をかけてくれます。毎日とっても暖かい瞬間です。そんな

な日常のふとしたことに目を向け、きらきらした場面を私自身も作りたいたいと思っています。なかま、職員、保護者、地域、多くの人と、つながり、暖かく寄り添いながら、しかし、国には厳しく迫りたい——。かがやけ福祉会として、今年も、「みんなかがやけ」めざし、毎日毎日の積み重ねを大事にしながらか、厳しい冬を乗り越えて、春に向かつて、頑張りたいと思います。

（文責…理事長 長田うめ子）



エタンセール、アルクアンシエル 合同Xmas会

こんにちは、エタンセールの濱野です。12月22日に今年初めての行事（ホームクリスマス会）を行いました。今年に入ってから「新型コロナウィルス」が流行り始め、行事や外出もできず楽しめない一年を終えたくないと思い、感染予防をしっかりとし密にならないよう工夫し、クリスマス会を行いました。例年は他ホームと合同で行っていましたが、今年は、このような状況でしたので初の試みでアルクアンシエルのメンバーとリモートクリスマス会を行いました。スクリーン越しでしたが、会話をしながらお互いの顔が見れ、なかまちは最初不思議そうに見ていましたがすぐに慣れ声を掛けたり画面に手を振って嬉しそうな様子が見受けられました。チキンやクリスマスケーキなどのクリスマス料理もたくさん食べ、クリスマスプレゼントももらってみんな嬉しそうで、クリスマス会を開催できてよかったなあと思いました。来年はどこまで全体行事が行えるかわかりませんが、色々と工夫をしながら、一つでも多くの行事を行なえたら、と思います。



（文責：濱野 可奈子）

かがやけ寮 クリスマス会

新型コロナウイルスの影響により、今年度予定していた行事がほぼ全て中止になってしまいました。グループホームでは以前から余暇活動にはとも力を入れており、コロナ状況下の中でできる行事やお楽しみはないかと職員で話し合いを重ねてきました。

皆で試行錯誤を重ねた結果、今年度はホーム別でクリスマス会を開催することになりました。各ホームに別れて行なうこと、みんなで集まってしまうのではなく料理は自室で別れて食べることなど、いつものクリスマス会とはだいぶ違うものになってしまいました。ケンタッキーやクリームシチュー、チョコレートケーキなど自分たちが選んだものを食べることができたので、何か物足りなさを感じつつも満足してもらえたようです。プレゼントに第2作業所のクッキーを用意しそちらも好評でした。

今後も新型コロナウイルスがしばらく続くことを考えると次年度も大きな行事は難しいと思われる。できることは限られてしましますが日常生活の充実のためこれまでどおり余暇活動の実現に向け頑張っていきたいと思えます。現在のコロナ禍の生活で不安な状況ではありますが、1日でも早く今までの日常生活を送れる日が戻って来ることを心より願っています。

（文責：小島 克明）

かがやけ第2共同作業所 忘年会

12月28日（月）、年内最終日に忘年会を行いました。今回はリーダー会が中心になって企画、進行しました。

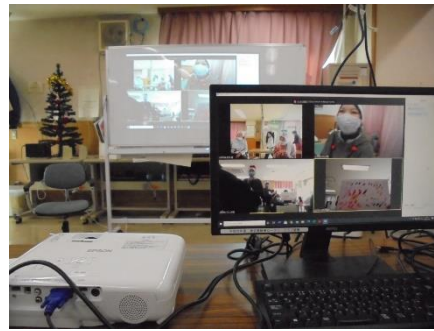
コロナ感染予防対策は万全に行い、密を避けるため班ごとに部屋を分けリモートで繋ぎました。メニューはリクエストをとり、お蕎麦、ラーメン、チャーハンなど。ケバブのキッチンカーも呼び豪華なメニューとなりました。ラーメン職人や蕎麦職人などに扮する職員が配膳にまわると、皆さん大盛り上がりでした。おなががいっぱいになったところで表彰です。皆勤賞、精勤賞は例年よりたくさんの方が表彰され、各班のリーダーからの表彰では表彰された方は手作りの賞状をもらい嬉しそうに周りを見せていました。

その後リーダーによるものまね当てクイズ、野口管理栄養士から年末年始の過ごし方のお話を聞きました。

例年と違った形での忘年会でしたが、みんなが楽しめるひとときを過ごすことができました。



（文責：照沼 雅代）



かがやけ共同作業所 クリスマスパーティー開催

昨年12月25日 クリスマスにかがやけ共同作業所内で3台のパソコンとタブレットを使い初めてのオンラインイベントを行いました。
まだ、猛威を奮ってる新型コロナウイルスの感染防止対策として各班1台のパソコンを用意して、画面も大きくみんなで視聴できるように、プロジェクターで放映しました。

プロジェクターの様子です

なかまの実行委員会を立ち上げ、イベント、装飾、食事、プレゼントの担当に分かれ、なかま達が主体的に考え、企画しました。

数週間前から、各フロアの天井にリースを吊るしたり、各班にクリスマスツリーを設置したりと所内をクリスマス仕様に飾り、初お披露目の際には「わー、何これー」と驚いているなかまの方もいました。当日はみんなでカチューシヤを付けたり、マスクにクリスマスのシールを貼ったりと開催前からうきうきして

いる方も、午前はイラストあてゲーム、各班で好きなイラストを描き何を描いたかを当てるゲーム、どの班にも素晴らしい画伯が居て素晴らしいイラストが出来ました。昼食はパエリアかココモコ弁当の選択、ローストビーフやナムルの入ったオーダブル、デザートにクリスマス用のミニロールケーキを食べました。午後はみんなの飛び切りの笑顔を集めた動画を鑑賞し、最後にはサンタが登場し一人ひとりにプレゼントを渡しイベント終了・・・初めてのオンラインでのイベントで、映像が止まってしまう、動画の音声がでない場所があるなど、完璧ではなかったですが、各班で分かれてもイベントが開催できるということが分かり、これからのイベントのツールとして活かされたいなと感じました。

（文責・石関 知也）

かがやけ共同作業所 新入所者紹介



よしみ 好美さん
きくち 菊池
かがやけ共同作業所

2020年11月にかがやけ共同作業所に入所した菊池好美（きくち よしみ）です。フレンド班に入りました。好きなことは折り紙を折る事です。得意な折り紙は、サイコロ型の折り紙です。また、童謡を聞くのがとても好きです。作業所で働いて、自分の好きな童謡のCDを買いたいと

思っています。パソコンにも興味があって、パソコンを使って何かを作ってみたいと思っています。皆さん、宜しくお願いします。

^^かがやけ募金ご報告^^

二〇二〇年九月一日
二〇二一年一月三十一日
【253, 897円】でした。
あたたかなご支援、誠にありがとうございます。

【編集後記】

『10』28水曜日私はかがやけ人たちが楽しく、元気にもりやがってハロウィンパーティーをやりました。（中略）かぼちゃにかそうしてた人も、いました楽しい、楽しいハロウィンパーティーでした。楽しいかったです。私はとても。またらいねんも祭りをみんな、楽しく元気にやりたいです。（原文のまま）

ハロウィンパーティー後、なかまからいただいた感想文です。原稿用紙四枚分にも及ぶ感想はとても嬉しく、何度も読み返しました。
コロナ禍の中であっても、楽しい思い出を残せるよう、今後もなかまと共に頑張れたら、と強く思うきっかけになりました。
元の生活に戻れることを願いつつ、今出来ることを重ねていけたらと感じます。

（かがやけ第2共同作業所 西田）